

# GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



# 8

NO.2

## ガバナーメッセージ



国際ロータリー第2830地区  
2023-24年度 ガバナー

築館 智大 (八戸ロータリークラブ)

### 再度 地区スローガン

和氣満堂

”わきまんどう”と読みます。

「満堂和氣生嘉祥」まででひとつの綴りで、

”どうにみつる わきは かしょうを しょうぜしむ”と、読みます。

意味は「部屋いっぱいのなごやかな空気が、めでたい兆しをあらわす」だそうです。

部屋一杯に満ちた和やかな雰囲気、めでたさを生み出す。また満ちるようにしたいものだ。という意味になります。

私達の地区にも、皆さんのクラブにも、私達の心の中にも、そして世界中に

そのような和気が満る(みつる)様に本年度1年間、頑張りたいと思っています。

”CREATE HOPE in the WORLD”です。

皆様のご協力を宜しくお願いします。

## ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問現在 4 クラブを訪問しました。(7月21日記)

卓話の持ち時間 30 分。質問になるべく答えるためには、持ち時間 25 分以内と限られています。

本来私が皆さんに伝えたい 3 つの事は

- ① 奉仕のインパクト
- ② クラブの変化と元気なクラブ作り
- ③ 地域における D・E・I とクラブにおける D・E・I

とても時間が足りません。

国際協議会出席の報告、ゴードン・マッキナリーRI 会長のテーマと 6 つの重点項目。

地区としての私のスローガンと、地区としての取り組むべき重点項目。

これらをお話ししていると、もう時間が来てしまいます。

私は、ガバナーノミニー、エレクト、そしてガバナー公式訪問で皆さんとお会いしますが、公式訪問が一周しましたら又、前述の 3 つの事について、皆さんのところに御邪魔し、卓話をし、意見交換をしたいと思います。

11 月以降是非、地区の委員長卓話ともども、私も呼んでいただけるようなクラブのプログラムを作成していただきたいと思っています。

呼んで下さ〜い。



## ガバナー公式訪問 (7月4日~7月27日)

7月4日のむつロータリークラブを最初に築館ガバナーの公式訪問がスタートしました。  
10月27日の六ヶ所ロータリークラブまでの40クラブ、2830 地区内ロータリアンの皆さんとお会いできるのを楽しみにしています。よろしくお願いします。

今回の月信では、7月27日までに訪問した9クラブを写真中心にお伝えします。  
お伝え出来ない写真まだまだありますが、何かの機会にお伝えできればと思っています。

最後になりますが、例年にはない酷暑の中、汗だくになりながら活躍して頂いた、各クラブのロータークンに心から感謝します。

### ◆むつロータリークラブ 7月4日



▲藤野会長（むつロータリークラブ）、  
峯ガバナー補佐





◆鯉ヶ沢ロータリークラブ 7月13日



▲クラブ協議会（鯉ヶ沢ロータリークラブ）

◆野辺地ロータリークラブ 7月18日



▲クラブ協議会（野辺地ロータリークラブ）



▲亀田会長（野辺地ロータリークラブ）、  
峯ガバナー補佐とロータくん



◆七戸ロータリークラブ 7月20日



▲公式訪問例会（七戸ロータリークラブ）

◆鶴田ロータリークラブ 7月24日



▲小関会長、伊藤幹事（鶴田ロータリークラブ）と  
ロータクン

◆つがるロータリークラブ 7月25日



▲佐藤会長（つがるロータリークラブ）、ロータくん

◆金木ロータリークラブ 7月25日



▲クラブ協議会（金木ロータリークラブ）



◆五所川原ロータリークラブ 7月26日



▲エンドポリオ号と  
敦賀会長（五所川原ロータリークラブ）

◆五所川原中央ロータリークラブ 7月27日



▲菊池会長（五所川原中央ロータリークラブ）と  
ロータくん



## 新委員長挨拶

### RLI 委員会

委員長 米谷 恵司(青森モーニングロータリークラブ)

RLI 委員会委員長を 5 年連続で拝命致します青森モーニングロータリークラブ所属の米谷恵司です。

RLI(Rotary Leadership Institute)はロータリーリーダーシップ研究会の略語で、1992 年アメリカ、ニュージャージー州の元 RI 理事デビット・リンネット氏の発案で始められました。そして現在は全世界 110 ヶ国、約 300 近い地区にロータリーの研究、研修組織として発展しております。また、我が地区は RLI の先進地区となっており、山崎パストガバナーは RLI 日本支部ファシリテーター委員会副委員長、源新パストガバナーは RLI 地区代表ファシリテーターとしてご活躍されており、沢山のご指導をいただいております。

RLI の研修は予め決められたテーマのもと皆様で自由に意見を出し合うスタイルで行われます。そしてディスカッションリーダー (DL) は進行役として質問を投げかけながら参加者の自発的な考えや意見を引き出していきます。参加者は解答を求めるのではなく、テーマに対する参加者の発言を聞き、自分自身の解答や方向性を見出す研修になっています。この手法はロータリークラブの将来展望を考えるにあたり、クラブを牽引するリーダーの育成、そしてクラブの継続性、刷新性、活性化を図るうえで最も重要な事だと考えます。その為にはロータリアン各自のスキルアップが必要不可欠です。それを実現する為是非とも RLI を活用して頂きたいと考えております。



活動計画は以下の通りです。

1. RLI の開催 (一泊二日の集中研修)
2. 受講者のレベルに沿ったセッションの実施
3. ディスカッションリーダーバンクの充実 (地区グループのバランスを考慮)
4. ディスカッションリーダーの資質向上、レベルアップを目指し年数回の研修会の開催
5. 地区認定 DL の増大
6. グループ毎に RLI 出張講座の開催

RLI 委員会は皆様クラブの益々の発展、活性化の為、精一杯お手伝いする所存でございますので、多数の参加を宜しくお願い申し上げます。

※ディカッションリーダーは今後ファシリテーターに名称変更予定

## 新委員長挨拶

### 公共イメージ向上委員会

委員長 橋本 八右衛門（八戸ロータリークラブ）

今年度の委員長を仰せつかりました橋本と申します。今までも委員として所属しておりましたが正直消極的であったと思います。それが突然このような肩書きをいただくこととなりましたので、積極的にがんばりたいと思っております。

さて、各クラブはもちろんのこと地区全体としてもロータリークラブは様々な活動をおこなっております。その活動を広く発信、紹介することにより、認識、共感してもらい、ロータリーに対して理解を深めてもらう事がこの委員会の最大の役割だと考えます。

今期は3つの活動目標を上げさせていただきました。



#### ① 地区公式キャラクター「ロータくん」



今年度はなんとといってもの地区イメージキャラクター「ロータくん」を活用です。第2830地区の存在、活動内容をより多くの人にPRするためにキャラクターを作りました。キャラクターデータを使ってのクラブ内外発信文書、SNS上でのシンボルとしての活用、また着ぐるみも作りましたので、地区大会、様々な主催イベントはもちろんのこと、日々の各クラブ奉仕活動、交流活動への活用していきます。

#### ② 各クラブのロータリアンへの意識付け活動

会員増強委員会と協力し各クラブに訪問、卓話などで公共イメージ向上及び会員増強の大切さ、そしてクラブの強化の必要性などお伝えしていきます。もちろん地区キャラ「ロータくん」の積極的活用もあわせて促す予定です。

#### ③ 世界ポリオ・デーでの積極的PR

ポリオ根絶活動は世界中の人々に最大のインパクトをもたらしているロータリー活動です。昨年に引き続き地区でも世界ポリオ・デーでのイベントも開催予定とのことですので、「ロータくん」を活用しながら各委員会と協力しPR活動をする予定です。

各グループの委員共々頑張ってください。ご協力お願いいたします。

## 新委員長挨拶

### 社会奉仕・職業奉仕委員会

委員長 岩岡 隆雄（八戸東ロータリークラブ）

「10年後の職業奉仕をどのように迎えるか」

一言で10年先のビジョンと言われても、回答に困ってしまいませんか。

コロナウィルスの世界的なパンデミックや、ウクライナとロシアとの紛争(戦争)は予想の付かない事であり、すべからく事業に影響をもたらす事になり皆さんも計画どおりとはならなかったのではないのでしょうか。

しかし、事業を継続発展させながら超私の奉仕を目指すためにロータリアンの皆様は日々事業経営に取り組まれていると思います。

これは、外的な要因であっても決して事業計画は着実に皆さんも考えておられると思います。

事業の10年先をどんな会社になっているか、それをイメージできることは経営者の最大の仕事ではないかと考えます。どんな会社になりたいか、またはどんな会社になりたいか10年間の間に青森県の人口減少は確実に進み90万人を切り、生産労働人口は37万人となる、と青森県庁の資料で発表されています。

一つは、働く社員の確保と、マーケットが縮小して行くことは確実ではないのでしょうか？今年小学生が10年後に社会人となり、職業人となります。この若い人財を将来の仲間を迎え入れる事を考えてみませんか

また、大学生も学生生活をしながら就職活動に入ります。このときに募集企業が沢山ありながら、選択に迷ってしまう学生が多いのではないのでしょうか。

2016年から始まった、青森大学とロータリーとのじょっぱり経済学は経営者が自社の経営を90分の講座を持ちます、その内容は経営者のビジョンであり、事業の価値であります。

企業が存続発展する未来を伝え、魅力ある企業を15講座開催しております。

このような大学と連携していることもロータリーとしてチャンスではないのでしょうか

未来の社員になるチャンスを国際ロータリー2830地区として取り組みをしております。

今後は、県南の大学とも調整を図り県内の大学とよりよい関係性をもち地域の大学を応援しながら地域で人材が活躍出来る環境づくりを皆さんで実践してみませんか

人材育成には時間がかかります。奉仕活動と企業の発展を両輪で廻る10年ビジョンを考えてみましょう。





## 新委員長挨拶

### ロータリー財団委員会

委員長 佐藤 健一（青森ロータリークラブ）



2023 - 24 年度のロータリー財団委員会の活動を通じて、

- ① 財団活動レベルの低いクラブを訪問し、財団の役割、必要性の理解を増進し、寄金実績の向上を目指します
- ② 全てのクラブにおいて地区補助金事業を実施するよう働きかけます
- ③ 地区又はクラブにおいてグローバル補助金による事業を実施します

具体的には、先ず、地区補助金・グローバル補助金による既活動記録から PR 資料を作成し、これを各クラブにおいて披露し、補助金事業実施と寄金推進の PR を図ります。また、各クラブ担当者に対する財団セミナー、補助金管理セミナーを 7 月下旬、11 月下旬頃に開催します。事業展開においては、メディア、SNS の活用を促進します。

各小委員会（地区補助金委員会、グローバル補助金委員会、資金推進委員会、平和フェロシップ・奨学金・学友委員会、ポリオ対策委員会）は、ガバナー補佐と連携して各委員会事業の推進を図ります。



## 新委員長挨拶

### 地区補助金委員会

委員長 小田桐 隆夫（むつロータリークラブ）

2830 地区には 40RC があります。今年度 2023-24 の地区補助金の申請は 33RC で、昨年よりも 5RC 増加しました。理由として、ガバナーの公式訪問の時に、ロータリー財団委員長も同行して、事業の申請を促した効果がありました。

しかし 7RC からの申請がありませんでした。

今年度の特徴として幼児・小・中学生・高校生が対象の事業が 23RC となっています。内訳は「子供たちと活動する」事業が 10RC となっており、次にスポーツ大会開催を 8RC が計画しています。このような事業は、地域と一緒に活動するので「公共イメージの向上」にも繋がり「社会奉仕」として地域に多大な効果があるのではないのでしょうか。

報道として TV や新聞等にも取り上げてもらえれば、ロータリークラブの広報にも繋がりますので各クラブの行動力に期待します。

6月 今年度新プロジェクト計画書一括申請（東京事務所）

全てのプロジェクトが承認された後に各 RC へ送金

7月 前年度プロジェクトの報告書一括申請（東京事務所）

7月 財団セミナー（前年度の活動報告と 23-24 年度の計画案の発表）

12月 財団セミナー（2024-25 地区補助金の申請説明）

来年3月 次年度プロジェクト（2024-25 地区補助金締切り）

来年5月 次年度プロジェクト（2024-25 地区補助金審査）決定



## 新委員長挨拶

### グローバル補助金委員会

委員長 川崎 益美（八戸北ロータリークラブ）

グローバル補助金は、実施国提唱者と援助国提唱者の信頼関係のもとに、ロータリー活動の重点分野に該当し、大規模（3万米ドル以上）で持続可能かつ測定可能な成果をもたらすことが求められます。

提唱者は、それぞれクラブまたは地区になります。そして補助金プロジェクトの提唱者は海外のクラブや地区と協力して取り組まなければなりません。

ロータリー活動の7つの重点分野は下記になります。

- ① 基本的教育と識字率向上
- ② 地域社会の経済発展
- ③ 疾病予防と治療
- ④ 母子の健康
- ⑤ 平和構築と紛争予防
- ⑥ 水と衛生
- ⑦ 環境

2012年～2013年度から始めましたグローバル補助金事業ですが、2830地区では、タイの3330地区との地区どうしでの信頼関係のもとにタイへの援助国として活用してまいりました。これまでの補助金活用プロジェクトは、主にタイ南部地方の水質があまり良くない地域での学校等への浄水器設置事業でした。

コロナ禍の影響もあり、過去3年間はタイの病院への医療器具等の支援もしてまいりました。また、昨年はウクライナへの仮設住宅の支援を日本国内14地区と共同で実施いたしました。さらには、セルビア・ベオグラードの小学校にmBotを寄贈するプロジェクトにも協賛いたしました。

国際的なコロナ禍の緩和とタイ3330地区の地区大会参加の招待もあり、2023年3月15日～20日の日程にて、タイの現地を訪問してグローバル補助金の活用状況を確認してまいりました。

これらを踏まえて、今年度は地区内各クラブにグローバル補助金活用の実態を現地で確認した写真などを活用し広報して、啓蒙活動に取り組んでまいります。

また、これまで10年にわたり取り組んでまいりましたタイとの信頼関係を軸に、さらに可能な限り支援をして「世界で良いことをしよう」というロータリーの目的に沿った活動をしてまいります。

1年間、宜しくお願い致します。





## 新委員長挨拶

### 資金推進委員会

委員長 小林 俊一（青森ロータリークラブ）

昨年に引き続き資金推進委員長を仰せつかりました青森ロータリークラブの小林俊一です。

おかげさまで昨年度は寄付ゼロクラブ防止を達成することが出来ました。ご協力ご支援いただきました皆様に紙面をお借りし御礼申し上げます。

資金推進委員会は年次基金寄付とポリオ寄付金に関する委員会です、会員皆様をお願いする寄付金はそれぞれ 150 ドル、30 ドルとなっております。

そして例年大事な取組として「寄付ゼロをゼロクラブにする」という目標です。ロータリー日本財団でもゼロクラブ防止を主要な取り組みの一つとして取り上げており、当地区が取り残されないよう築館年度もお願いし推進してゆく 1 年となります。

もう一つ取り組む大事なお願いはロータリーカードの利用です。

会員個人並びにクラブ経費、特に人頭分担金のロータリーカード利用による支払いでポリオプラスへの寄付を増加させるということです。カード利用額 0.3%の寄付金は毎日のお支払いが奉仕となる地道ではありますが確実に積み上がる寄付金となります、どうぞご理解と協力をお願いいたします。

以上本年もお願い中心となりますがよろしくをお願いいたします。



## 新委員長挨拶

### 平和フェローシップ・奨学金・学友委員会

委員長 工藤 真人（青森ロータリークラブ）

平和フェローシップについては、毎年、ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高 130 名のフェローが世界中から選ばれ、ロータリーからフェローシップ（全額支給の奨学金）が授与されます。フェローシップには、授業料・入学金の全額、滞在費（宿舍・食費）、往復航空券、インターンシップと実地研修の費用が含まれます。2002 年に創設されて以来、ロータリー平和センターは 1,400 人以上のフェローを輩出してきました。これらのフェローは現在、115 カ国以上で活躍し、政府、NGO、軍、教育、法執行機関のほか、国連や世界銀行といった国際機関でリーダーシップを発揮していますが、提携大学院が日本は国際基督教大学その他は海外の 4 大学に限定されるなど選考条件も厳しい奨学制度です。



グローバル補助金奨学金は、4 年制大学を修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリーの重点分野（・ 平和構築と紛争予防 ・ 疾病予防と治療 ・ 水と衛生 ・ 母子の健康 ・ 基本的教育と識字率向上 ・ 地域社会の経済発展）で活動する 未来のリーダーを育成するためのものです。海外に留学を希望する、4 年制大学を 2 年以上修了した方（または見込みの方）を対象に、ロータリー財団の奨学金を提供し、支援しています。本年は、アメリカのロズウェル癌研究所でむつ総合病院の千田ドクターが研究に励んでいます。

地区補助金奨学金は、高校 3 年生卒業予定者を募集して、大学へ入った際に奨学金を支給する制度です。

平和フェローシップ奨学生、グローバル補助金奨学生、地区補助金奨学生とも今年度も募集いたします。

次年度は、これらの奨学金の募集要項などのチラシを作成し理解を深めてもらおうと考えております。

また、学友の活躍の報告や連絡網の確立に努力します。

会員の皆様のご協力を宜しくお願い致します。

## 新委員長挨拶

### ポリオプラス委員会

委員長 森内 忠良（青森ロータリークラブ）



築館年度は、田中年度の引き継ぎ案件と共に下記の三案を実施する。

- ① ポリオ活動出前授業
- ② ポリオ活動 T シャツ購入のお願い
- ③ パキスタンポリオ投与活動

- ① 新世代へポリオプラス活動の意義を周知するために、動画を制作し、それを使用しながら各グループ委員がインターアクトが在籍する高校に出前授業をする計画である。

成田ポリオプラス委員が第 2670 地区の前田氏（EPNC）が制作された動画を基に制作中である。また出前授業を行うことによって、インターアクトのみでなく、若い人へのポリオプラス活動への興味と参加を呼び込み、活動を広げる。

- ② ポリオプラス活動用のユニフォームとして T シャツを作成が完了した。身につけることによって、連帯意識を高め、楽しく活動ができ、他のイベントでも着用できる。デザインは国際標準ポリオプラスカラーの黄色をベースに、青森モーニング RC のデザイナー須藤氏が作成した。田中ガバナー年度と築館年度のポリオプラス予算を使用し、補助された 1 枚 1500 円の T シャツが少数ではあるがはまだ在庫がある。在庫がなくなり次第、2500 円の T シャツを販売予定である。10 月 22 日の地区大会には T シャツを着用し、世界ポリオデー（10 月 24 日）を広めるためのウォークラリーを予定している。

- ③ ポリオ常在国は、パキスタン・アフガニスタンの紛争や宗教上の問題で接種が行き届きにくいのが現状である。したがってウエストジョーダン RC 永田雄治氏の協力を得ながら、2023 年のパキスタンポリオワクチン投与活動を行った。パキスタンポリオプラス委員長アジズ氏、アリ氏に今後も協力していただき、安全に投与活動を広める。今年度の第 2830 地区投与活動の予定は、2023 年 12 月 2 日（土）発、12 月 6 日（水）帰国予定である。

現在もロータリーの最優先事項であるポリオ根絶活動は、様々な組織、世界保健機関（WHO）やユニセフ、米国疾病対策センター（CDC）、ビル&メリンダ・ゲイツ財団などと協力し、世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）を発足させた。

ロータリークラブが様々な組織を動かす「てこ」であり続けるために、我々の活動意義を改めて会員の皆さまと共有していきたい。



## 新委員長挨拶

### 国際奉仕委員会

委員長 白山 春男（十和田東ロータリークラブ）

田中年度に引き続き築館年度も国際奉仕委員長を拝命いたしました、十和田東の白山でございます。

今年度事業は、長年ポリオ投与でお世話になりましたインドからの要請で、教育的プログラムに寄付の要請があり、築館ガバナーの許可を頂いて実施したいと思います。この他に国際奉仕に関する協力を極力したいと思います。今後とも、我々はロータリアンとして国際奉仕の理念である国際交流、国際理解、平和のための活動をこれからも展開していくことをお願いいたします。



## 新委員長挨拶

### インターアクト委員会

委員長 松山 隆志（野辺地ロータリークラブ）

前年度に引き続きインターアクト委員会を担当させて頂く松山隆志です。よろしくお願い致します。

例年、インターアクト委員会の活動の大きな柱は

①インターアクト年次大会を開催する ②インターアクトの翼を実施する ③ガバナー表彰の実施の3つです。

現在地区内には21のインターアクトクラブが組織されていますが、多くのクラブがコロナ禍の影響によりここ何年か思い通りの活動ができない状態が続いているとのこと。そろそろ以前の状態に近づけ活発な奉仕活動を実現していただくよう委員会としてそのサポートのために鋭意努力していきたいと思っております。



#### ①インターアクト年次大会

地区内21校に組織されたインターアクトクラブのメンバーが一堂に会し、その活動についての情報を報告し合うとともに、寝食も含め共働することによって友情と親睦を深めることを目的とします。例年、ホスト校と提唱クラブの協力により特色のある大会を盛大に開催しています。今年度は「開催実現」にむけて関係各位と調整中です。

#### ②インターアクトの翼

高校の冬休み期間を使いインターアクターを海外へ派遣。現地の家庭にホームステイしながら短期間ではありますが異郷での生活を体験、現地高校生との交流によって、その後の人生への糧としてもらう大変有意義な企画です。前年度は、台湾の現地ロータリークラブの多大なる協力により実現。温かく迎入れして頂き、大きな成果をあげています。出発前の不安と期待でおどおどしていた参加者が帰りの飛行機の中では堂々とした顔つきになっているのを目の当たりにすると、是非継続していきたいと思える事業です。

今年度は前年度交流先のクラブから「来訪」の意向もあり、相互交流の観点から受け入れの方向で調整中です。いずれにしても関係方面と広く協議の上、継続実施する方向で調整を重ねていきたいと思っております。

#### ③ガバナー表彰の実施

インターアクターの在学中の積極的な奉仕活動に対して卒業時に顕彰を行います。

定例の委員会活動として上記3つを継続実施しますが、今年度は築館ガバナーの指示により次の活動も実施して参ります。

#### ④「ポリオ活動」「Rotary クラブ紹介」出前授業の実施

インターアクトクラブのある高校に出向き、標記テーマに関する出前講座を実施します。RIが取り組む「ポリオ撲滅運動」を高校生に紹介、若年層のポリオについての認知度向上によりその活動をより活発化させその撲滅実現に寄与することと、ロータリークラブの活動内容等をPRすることにより「Rotary クラブ」に興味・親しみを持っていただき、共に奉仕活動を実践する親しみを持ってもらう事を目的とします。

今年度はさらに各提唱クラブに対し「各校インターアクトクラブへの指導をより推進すること」をお願いしたいと思ひます。各クラブ毎、それぞれの方法でインターアクトクラブへの関与を進めているとは思ひますが、コロナ禍の中、ここ数年奉仕活動等の内容、実施方法等について方向性を見いだせずにいるインターアクトクラブも多いものと推察します。一歩踏み込んだ関与によりその一助になれば、より効果的な活動を実行することができるものと考えます。各提唱クラブのインターアクト担当の方は、無理のない程度積極的に学校へ足を運び、高校生達と「話」をしてみませんか。

以上、今年度は、アフターコロナを見据え、飛躍の年度となるよう進めていきたいと思ひます。すべてはインターアクターのために...





## 新委員長挨拶

### ローターアクト委員会

委員長 柴田 文彦（むつ中央ロータリークラブ）

今年度ローターアクト委員長を拝命いたしましたむつ中央ロータリークラブの柴田文彦です。国際ロータリーではローターアクトの大改革が行われ、その対応と活性化へと2年前から委員長を受けさせてもらっていましたが、コロナ禍において第2830地区では残念ながら衰退化してしまいました。当地区のローターアクトクラブは、青森保健大学、青森大学、弘前、八戸、五所川原、むつの6クラブです。完全に休部状態のクラブもあります。各クラブが活発な活動をしていただくにはどのようにしたら良いのでしょうか？



私にできることは、まず各クラブのスポンサークラブに働きかけることからはじめようと思っています。同時にこの状況を会員皆さんに認識してもらいスポンサークラブでないクラブも存続の危機感を感じ、ローターアクトクラブへ働きかけてもらうようお願いしようと思っています。

現在の若者たちに耳を傾けると何かボランティアをしたい気持ちが伝わってきます。しかしながらその受け皿になれていないことは悲しいことではないでしょうか。どうか各クラブでは奉仕活動時にローターアクトクラブの参加要請をお願いします。

委員会としては、委員と連携して各クラブの活発化を働きかけて、全体のローターアクトクラブの委員会、委員長、年次大会の構築を目指します。

＜実施予定＞

- ・スポンサークラブを通して各クラブの実態調査
- ・地区ローターアクト委員会設立
- ・地区ローターアクト年次大会の実施

＜改定された点＞

- ・スポンサークラブとの関係：クラブの組織、運営、資金管理等を自ら決定実施することができる。
- ・30歳までの年齢制限撤廃
- ・登録料 8ドル（学生5ドル）スポンサークラブを通さず自ら登録をする。



## 新委員長挨拶

### RYLA 委員会

#### 委員長 三浦 基（青森ロータリークラブ）

2023-24RYLA 委員長を務めさせていただきます青森ロータリークラブの三浦と申します。1年間よろしくお願いたします。

RYLAとは「R」otary「Y」outh「L」eadership「A」wardの略称であり、青少年（18～30歳くらいまで）に学びの機会を提供し、その学びについて話し合い、話し合った結果を発表し、それを講評し表彰することでリーダーの素養を醸成するプログラムです。

2022-23年度では2023年6月3日・4日に青森公立大学内国際交流ハウスにて実施し、日本銀行支店長 武藤一郎氏（青森RC）・秀寿司代表 桑田秀美氏（青森RC）両名に講師を務めていただき青少年11名・ロータリアン24名の参加をいただき開催いたしました。

以下、参加いただいた青少年の感想文より

1. 講義の内容だけでなく、他のロータリアンとの会話で、多く学び、まだ大学生の私にとって、本当に成長させました。
2. 自分の考え方やものの見方を広げられました。これからも異文化コミュニケーションを通じて自分をもっと成長させたいと考えるようになりました。
3. RYLAでは様々なバックグラウンドや文化を持つ青年たちと交流する機会がありました。他の参加者との議論やグループ活動を通じて、異なる視点やアイデアに触れることができました。この多様性は、私にとって非常に刺激的であり、自分の限られた視野を超えることができたと感じました。
4. 今回の育成プログラムを経験したことを踏まえて、周りの事を考え、自分がどういった立ち振る舞いを求められているのか、周りの為に何が出来るかを考えて行動していきたいと思えます。
5. RYLAを通して、ロータリーの方々から勉強になる話を聞いて勉強になったとともに、米山奨学生の皆さんからパワーをもらえた2日間でした。またお会いした機会にお互いが成長した姿でまたいろいろな話をする事ができたらと思っています。

私ども RYLA 委員会は参加した青少年にとって有意義なプログラムを全員で考え実践いたします。参加できる青少年は学生・社会人を問わず区内いずれかの RC より推薦を受けることができます。皆様の会社や取引先の新社会人をどしどし推薦していただければ幸いです。

今年度の実施予定日は2024年6月8日・9日の1泊2日です。場所等詳細決まりましたら地区事務所を通して各クラブに参加青少年推薦のお願いをいたしますのでご推薦よろしくお願いたします。ローテックス・米山記念奨学生・ローターアクターのご参加も当然大歓迎です。



## 新委員長挨拶

### 米山記念奨学委員会

委員長 野坂 幸子（野辺地ロータリークラブ）



#### 1. 米山への寄付は国際奉仕

ロータリー米山記念奨学事業は日本のロータリーの創始者故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、外国から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。

その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、平和日本を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという強い願いがありました。

#### 2. 第2830地区情報

- 2023年度は 12名の奨学生をお世話します。

北里大学、八戸学院大学

- 今年度は、特別寄付一人目標額を2万円以上 普通寄付3千円以上

- 米山学友会を再開しました。

8月4日・5日・6日 学友世界大会「再会 in 関東」つくば市へ6名参加します

- 主な行事 10月 米山月間 12月 面接 3月 修了式 4月 新奨学生・カウンセラーオリエンテーション 5月 卓話講習会 6月 卓話訪問開始

今、卓話訪問の調整をしています、引き続き申し込みお待ちしております。又、面接の準備に取り掛かっています。地区委員の皆様と奨学生が楽しく活動して参りますので会員の皆様のご支援・ご協力をお願い致します。



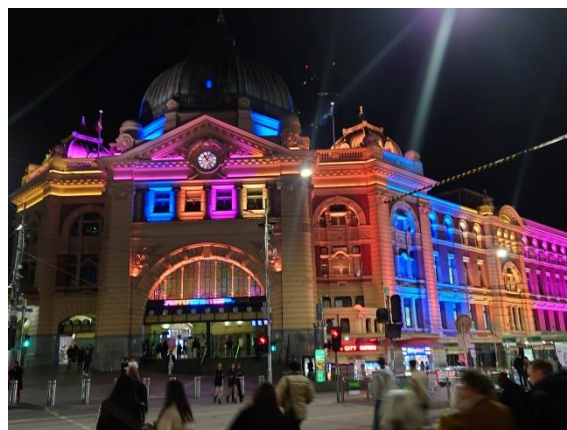
来月（9月）号でも引き続き、

新委員長さんをご紹介します！



## 2023年ロータリー国際大会（メルボルン）参加報告

5月27日～31日に開催された国際大会  
メルボルン大会の様子を「ガバナー月信 2023年6月号」  
の続編として写真を中心にお伝えいたします。



▲メルボルン

「フリンダースストリート駅」  
一日25万人が利用するターミナル駅です。  
ライトアップが綺麗です。



▲国際大会本会議の様子 2830地区のメンバーは、ステージ右側最上段の席での参加となりました。



▲本会議場にて



▲「友愛の家」展示場にて



## 2023年ロータリー国際大会（メルボルン）参加報告



▲「友愛の家」にて  
アフリカのブースにて、女性の自立を  
援助するプロジェクトのシャツを購入し、  
笑顔の築館エレクト。



▲地区ナイトにて田中ガバナーご挨拶  
※今回は、2580地区(東京都北部と沖縄県で  
構成)の皆さんと合同での開催となりました



▲地区ナイトにて（右から嶋村 2580地区ガバナー、  
柴田地区大会副実行委員長、田中ガバナー）  
☆柴田幹事お疲れさまでした。



▲メルボルン観光 フィリップ島ペンギンパレード  
※ペンギン保護のため、ペンギンを撮影することが  
NGでした。  
会場入口での写真（成田PGと築館エレクト）



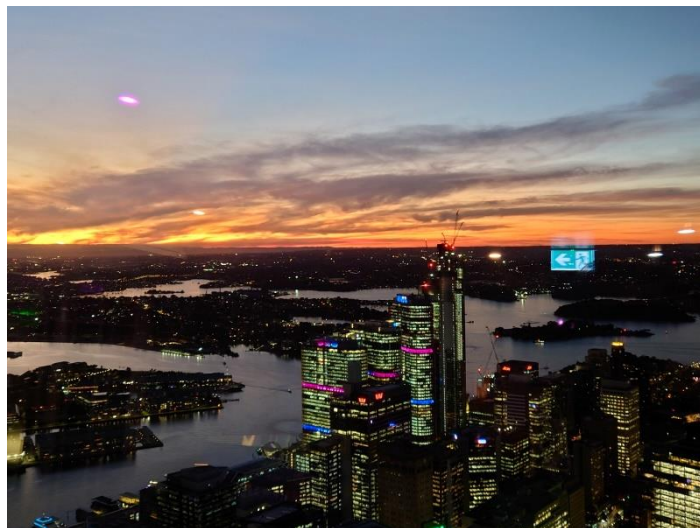
## 2023年ロータリー国際大会（メルボルン）参加報告



### ▲シドニー観光①

ハーバーブリッジ側から見たオペラハウス

今回はメルボルンへの直行便がなく、シドニー経由での大会となりましたが、おかげさまでシドニー観光も出来ました。



### ▲シドニー観光② シドニータワーからの日没風景



### ▲シドニー観光③ 昼食（1人前）

オーストラリアの食事は、日本人には少し多めです。  
フライドポテトがつきます。

2024年国際大会はシンガポールでの開催となります。（2024年5月25日～29日開催）  
多くの皆さんの参加をお待ちしています。



ローターアクトクラブへのアプローチ



第3地域 ロータリーコーディネーター 滝澤 功治 (神戸須磨 RC)

ロータリーコーディネーター (RC) は戦略計画の推進と会員増強・新クラブ拡大を担当し、各地区のガバナーに協力し、各クラブの活性化を図る任務を与えられているものです。この「クラブ」にはローターアクトクラブ (以下 RAC) も入ります。

2019年の規定審議会で RAC も RI の構成員になりましたが、欧米ではともかく、日本では RAC の地位はまだまだロータリークラブと同等とは言えず、「支援」が必要のように見えます。

2023年5月にメルボルンで開催された国際大会の分科会でも RAC が取り上げられていました。そこでは RAC の今後の取組として次のような提言がなされていました。

- ・ Holding joint events
- ・ More Rotaractors on Rotary and TRF Committees
- ・ Evaluating specific training opportunities
- ・ Setting goals in Rotary Club Central

私は最初の「イベントを共同で開催する」ということに着目しました。

第3地域では去る7月9日に戦略計画推進セミナーが開催されました。その中の RAC についてのセッションで、RI 第2710地区(広島・山口)の板井貴大ローターアクト地区代表から、5月28日にマツダスタジアム周辺で行ったポリオ根絶のためのキャンペーンについて、今回は RAC が中心となって準備し、ロータリークラブの協力を得て実施したとの発表がありました。また RI 第2720地区(熊本大分)の向井蓮ローターアクト地区代表からは、同地区と台湾の RI 第3523地区との姉妹提携に合わせ、両地区ローターアクトの交流協定も締結し、海外交流を行ったとの発表がありました。このように両地区がローターアクトを前面に押し出し、ロータリークラブの協力を得て積極的な活動を展開していることは素晴らしいと思いました。またこのセッションでは、中学・高校時代の同級生だった2人のインターアクターが、同じ大学に進学したらローターアクトで活動しようと約束したのに、入学した広島大学には RAC がなかったので、入学後わずか2か月で広島大学 RAC を結成したという発表がありました。発表した下野紗羽さんと當銘花奈子さんの2人の元インターアクターの行動力と発想の柔軟さに感銘を受けました。このような素晴らしい活動を起爆剤として、日本でも大学基盤の RAC がどんどん増えることを期待しています。

ロータリークラブは RAC にどのように対応すべきでしょうか。これについて、先般、ゴードン R.マッキナリー RI 会長は、RAC には「支援」ではなく「協力」することが必要だと言われ、バリー・ラシン TRF 管理委員長は、ロータリークラブは RAC のよきメンターにならねばならない、ローターアクターにはリーダーとして接することが重要だと言われました。肝に銘じておきたいと思います。



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 丸尾 研一（神戸西神 RC）

第3地域のロータリー公共イメージコーディネーター（RPIC）を拝命しております、丸尾研一（RID2680 神戸西神 RC）です。RPICは2年目になります。公共イメージコーディネーターの役割は、ロータリー内外でロータリアンを「世界（地域）を変える行動人」として描き出す影響力の強いストーリー（ストーリーテリング）を特定し、効果的に発信する能力をクラブと地区が強化するのを援助することで、ロータリー行動計画を積極的にすること。地区の組織と連携して、主に地域社会におけるネット上の存在感を得られるように支援すること、メディアと地域社会に積極的に伝えること、ブランド認知度を高めるために、ロータリーのオンラインの公共イメージリソースの利用をクラブと地区に推進すること、地域に合った方法で公共イメージキャンペーンを実施するための方法についてクラブと地区に助言する、ポリオ根絶におけるロータリーと会員の役割について周知を図る。

また今回共有したいこととして、1 確認 ロータリークラブの公共イメージと認知度向上は重要テーマであること、2 自覚 ロータリアン一人ひとりが強力な広報マン（ブランド推進者）であること、3 行動 各クラブで広報マインドを高めて奉仕活動の広報にチャレンジすること。私がロータリーに入会したころは、陰徳の美学を教え込まれましたが、いまや広報が重要であるとは言うまでもありません。

ここで話がかかりますが、今年久しぶりに行われた第50回神戸まつり（2019年以來4年ぶり）について記します。これまで5月の第3日曜日に開催されていたメインフェスティバルが、広島サミット開催と重なることから例年より一週間遅れの5月28日に開催されました。（おかげでメルボルンに行けなかった）神戸まつりは三宮のフラワーロードを交通規制して、パレード行進を行うのですが、今年のトピックスは大きく2つ、一つは「神戸ジャズ100周年記念パレード」これは日本で初めてプロバンドによるジャズが演奏されてから100周年、もう一つは「ディズニー40周年スペシャルパレード」一私のガバナー年度から毎年ロータリアン約40名と米山奨学生約20名と幼稚園児の鼓笛隊、約60名達と一緒に進行するのですが、この鼓笛隊の集客力は抜群、ロータリアンの比ではありません。沿道には、おじいちゃん、おばあちゃんたちがギッシリ並んでカメラのフラッシュ（思わず勘違い）でも無事終了することができ、関係各位皆様に感謝申し上げます。







第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター 永田 壮一（熊本城東 RC）

2023-2024 年度が始まりました。

新型コロナウイルスも感染症分類の2類相当から5類となりました。変更の理由は決して弱毒化したとか、感染数が減ったという訳ではなく多くの人がワクチンを接種し、ワクチンの効果（感染予防効果や軽症化の効果）が認められ、また抗ウイルス薬も安定供給が確認できたためと思われます。

新年度からは多くの地区で従来通りの対面式のクラブ例会が開催されているようです。そして、例会のあり方にも変化が見られています。今まではメイクアップは他のクラブを直接訪問して行うものでしたが、Zoom や Face Time を使って Web 参加するハイブリッド例会をかなり多くのクラブが採用し、例会のあり方にも変化が出てきました。

さて、第3地域では、毎年ロータリー年度の始まりの7月に戦略計画推進セミナーを開催しています。今年も7月9日曜日・神戸ポートピアホテルに於いて、第3地域 11 地区のガバナー・ガバナーエレクト・ガバナーノミニエ・地区会員増強委員長・地区公共イメージ委員長・地区ロータリー財団委員長においでいただき開催いたしました。セミナーの開催担当は、ロータリーコーディネーター、ロータリー公共イメージコーディネーター、ロータリー財団地域コーディネーターが順番に担当しますが、今年は私たちロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）と同補佐（ARRFC）の担当でした。内容は、RI の方針に従い「ローターアクトクラブの強化」「DEI の理解」、また佐藤芳郎 RI 理事が推進される「世界ポリオデー」や「Grow ROTARY」の話題、ロータリー財団からは「日本のロータリー財団の目標」「冠名基金の推進」「災害救援基金」について提案し、活発な意見交換が行われました。

今年、RRFC として三年目の年になります。ロータリアンの皆様にはロータリー財団に対する多くのご支援をいただき感謝申し上げます。今年、集大成として、まず1.「年次基金寄付ゼロクラブゼロ」の達成、それから2.「ポール・ハリス・ソサエティ（PHS）」会員を1地区に30名以上増強をお願いすること、3.新しく決まった「ポリオプラス・ソサエティ」の参加を推進すること、4.大口寄付の件数を各地区2名以上お願いすること、を目標として挙げさせていただきます。

第3地域の11の地区では5月末の昨年同月比では3地区が年次基金の寄付額が前年を上回りました。長らくコロナ禍でご無理は申し上げられませんが、ロータリー財団へのご寄付は世界で良い変化をもたらすための原動力となっています。ぜひロータリー財団の主旨をご理解の上、温かいご支援をお願いいたします。





R I 日本事務局  
財団法人  
NEWS

2023年8月号

会員増強・新クラブ  
結成推進月間  
発行日 7月27日



世界に希望を生み出そう

お知らせ

【倫理観を実践に移す】

スコットランド出身のゴードン R. マッキナリーRI 会長は、優先事項を実現する準備ができています。

毎年1月にイギリス全土で開催される「バーンズ・ナイト」。スコットランドを代表する詩人口バート・バーンズ(1759-1796)の誕生日を祝って、彼の歌や詩を披露・鑑賞する日です。そしてもちろんスコッチウイスキーやスコットランドの伝統料理・ハギスも振る舞われます。これぞまさにスコットランド。自宅にほど近いスコティッシュ・ボーダーズの町ガラシールズで、ゴードンさんも友人たちと一緒にバーンズ・ナイトを楽しんでいます。

連れ添って42年の妻ヘザーさんは、1997年にグラスゴーで開催されたロータリー国際大会の時に仕立てたサッシュ(リボンや帯の一種)をまわって、子ども時代から慣れ親しんだバーンズの歌を朗々と歌い上げます。音楽の専門教育を受けた彼女は、オペラ歌手であり、音楽教師でもありません。記事の続きは[こちら](#)

【メンタルヘルスを優先することはなぜ大切なのか】

寄稿者:ゴードン R. マッキナリーさん(2023-24年度国際ロータリー会長)

私は2023-24年度国際ロータリー会長として、世界的なメンタルヘルスの問題に特に焦点を当てています。メンタルヘルスや心の健康は、誰にとっても口にしやすいトピックかもしれませんが。国や地域によってはそのような対話がとても難しい場合があることも理解しています。

しかし、自分のメンタルヘルスや心の健康を大事にできるよう互いに心を開き、助け合うことの恩恵は計り知れません。多くの人に苦難や孤立を強いることとなった新型コロナウイルスの世界的大流行がようやく終わりつつある今、私たちの多く、そして私たちが奉仕する人びとの多くが、引き続き心の健康の問題を抱え、誰にも相談できずに悩んでいます。ロータリー会員である私たちは、そのような人たちに手を差し伸べることができます。親睦と奉仕を礎とする団体として、私たちは互いを信頼し、思いやりながら、支えあうことができます。私たちは皆、メンタルヘルスとウェルネスについて地域社会とオープンなディスカッションを行い、地域で予防ケアや支援の堅固な土台を築くことができます。

記事の続きは[こちら](#)

My ROTARY RILEート

[寄付送金明細書](#)

[寄付・認証の手引き](#)

2023-24年度

目標(世界)

- ・年次基金:1億5,000万ドル
- ・ポリオプラス基金:1億5,000万ドル(ゲイツ財団からの上乗せ含む)
- ・恒久基金:1億4,000万ドル(2025年までに20億2,500万ドル)
- ・その他の現金寄付:6,000万ドル(グローバル補助金への現金拠出等)
- ・全体(上記合計):5億ドル

目標(日本)

- ・年次基金:一人当たり150ドル  
年次基金寄付ゼロクラブゼロ達成  
EREY(年次基金への寄付)の推進  
ポール・ハリス・ソサエティの推進(各地区+30名目標)
- ・ポリオプラス:一人当たり30ドル
- ・恒久基金:冠名基金を各地区1件以上設立
- ・大口寄付:1万ドル以上のご寄付100件、AKS10名増(日本全体)
- ・ポリオプラスへDDFの20%を寄贈
- ・ロータリー平和センター、重点分野へのDDF寄贈
- ・世界ポリオデー(WPD)の推進
- ・補助金の活用の促進
- ・ロータリー平和フェローシップの推進

日本の状況

冠名基金数 252  
AKS会員数 60  
PHS会員数 1381

財団室NEWS8月号

### My Rotary scheduled maintenance

My ROTARYのメンテナンスが行われる予定です。メンテナンス期間中は、ログインが必要なページ(オンライン寄付、請求書のお支払い、補助金、各種レポート、ロータリークラブ・セントラル、ラーニングセンター、クラブと地区の運営など)へのアクセスが一時的に途切れる場合がございます。(その間、ゲストとしてオンライン寄付をしていただくことは可能です) ご不便ご迷惑をおかけし申し訳ございません。何とぞご理解のほどよろしくお願いいたします。

日付: 2023年7月28日午後05:30分から  
2023年7月30日午後12:00(シカゴ時間)

### 【ウクライナ救援基金】

ウクライナ支援のためのご寄付は、過去14カ月間で1,600万米ドルが集まり、戦争の被害を受けた人びとへの支援を提供する何百件もの補助金活動に活かされました。ご寄付は、ウクライナや世界各地でのウクライナ難民を支援し、復興活動をサポートする会員主導のプロジェクトに役立てられました。

しかし、依然として大きなニーズがあります。ロータリーでは引き続き、食糧、安全な水、衣服を提供するために災害救援補助金を承認していきます。また、病院への電力の供給、負傷した市民の治療、家を追われた家族へのシェルターの提供のための補助金も承認しています。これらを実施していくためには、引き続きご支援が必要とされています。

現在、ウクライナ救援基金からの資金がすべて使い尽くされたため、必要物資を届けるための補助金40件以上が保留状態となっています。ウクライナ救援基金へのご寄付を、ぜひご検討いただけましたら幸いです。

ご寄付は[こちら](#)

[「世界で広がるウクライナ支援のネットワーク」](#)  
[「パキスタンとウクライナへの支援を目的とする基金を管理委員会が設置」](#)

リソース

<My ROTARY>

[Rotary.org 利用にあたってのリソース](#)  
[「My ROTARY」アカウント登録方法](#)

[ブランドリソースセンター](#)

[ロータリーの日本語フェイスブック](#)

[ロータリーボイス](#)

[組織規定](#)

[管理委員会の決定](#)

[ロータリーのプライバシーの方針](#)

[ロータリーのラーニングセンターを活用しよう](#)

<資料>

[財務報告](#)

[年次報告\(オンライン版\)](#)

[ロータリー財団概要資料](#)

[ロータリー財団参照ガイド](#)

<各種レポート>

[My ROTARY](#)にログインをすると、「[各種レポート](#)」から、役職に応じてレポートを閲覧できます。

- PHF とベネファクターレポート
- クラブ認証概要レポート(CRS)
- メジャードナー/アーチ C. クランフ・ソサエティ/遺贈友の会レポート
- PHS レポート
- 月次寄付レポート(MCR)
- 地区ファンドレイジング分析
- 補助金に関するレポート など
- 寄付者履歴レポート(本人のみ)

認証や、各種レポートの閲覧方法等は、「[寄付・認証の手引き](#)」もご参照ください。

[パキスタンとウクライナを支援するための二つの一時的な基金について](#)



財団室NEWS8月号

## 【メンタルヘルスの支援に取り組む分野特化型ロータリークラブ】

ロータリアンである夫から長年ロータリーへの入会を勧められてきた医師マリベル・コーリー・シャーさんは、多忙のためこの誘いを断ってきました。しかし、メンタルヘルスとウェルネスに焦点を当てたロータリークラブが設立されると聞くや否や、すぐにその機会に飛びつきました。

内科医であるシャーさんは、新型コロナウイルス流行が始まって以来、多くの患者が不安やうつに悩まされているのを目にし、自身も医療従事者として疲弊していました。この新クラブの設立は、彼女にとってまさに絶妙のタイミングでした。現在このクラブの会長を務めているシャーさんは、「クラブでは、自分と同じ関心をもつ人たちと一緒に活動でき、生きがいを感じています」と話します。オンラインで例会を行うこのクラブは、世界中から入会者を受け入れており、メンタルヘルス分野の医療従事者や専門家のほか、この問題に強い関心を持っている人が会員となっています。

記事の続きは[こちら](#)

## 【インターアクターが募金活動で大活躍】

1962年に創設されたロータリーのプログラム「インターアクト」は、12～18歳の学生がリーダーシップスキルを学び、地元でボランティア活動する場となっています。中高生とはいえ、インターアクターたちの活動力には目を見張るものがあります。

インターアクターであるメリン・ロスモンさん(米国カリフォルニア州)は、まだ高校生ながら地元や世界に大きなインパクトをもたらしています。

そのことは、ロスモンさんがリーダーを務める第5170地区インターアクトが集めた募金額からも明らかです。同地区に123あるインターアクトクラブの募金活動では、学年度末までに総額4万ドル(約550万円)以上が集まる見込みとなっています。集めた資金は、同地区のインターアクターたちが2023年に選んだ目的(サンフランシスコ湾岸地域での食糧支援とホンジュラスでの水・衛生環境の改善)のために役立てられます。

記事の続きは[こちら](#)

## 【ロータリーと米国国際開発庁(USAID)が互いの強みを生かす】

安全に管理された水・衛生設備(WASH)の利用の改善を目的とする米国国際開発庁(USAID)との長期的な戦略的パートナーシップは、これまでに大きな成功を収めています。この官民のパートナーシップは、私たちが奉仕する地域社会へのインパクトをいかに高め、ロータリー会員が単独では行うことのできない支援活動をどのように拡大できるかを示しています。

すべてのパートナーの強みを生かす能力こそが、よきパートナーとなるための条件であると話すのは、ロータリーの水と衛生の重点分野担当スタッフのエリカ・グウィンです。「パートナーシップがうまくいってれば、1+1=2以上の効果が出ます。パートナーシップの影響は、単なる足し算だけではなく、掛け算でなければなりません」記事の続きは[こちら](#)

リソース

<資料>

[年次基金とシェア](#)

[寄付者の認証](#)

[税制上の優遇措置](#)

[オンラインでの寄付](#)

[認証ポイント使用申請書](#)

[ポール・ハリス・ソサエティ\(PHS\)](#)

[PHSパンフレット](#)

[PHS入会フォーム](#)

[PHS認証状テンプレート](#)

[PHS オンライン入会手続き\(ppt\)](#)

[資金モデルの変更について\(2021年7月より有効\)](#)

国際財団活動資金(WF)に関するプレゼンテーション

• [パワーポイント](#)

• [動画](#)

[END POLIO NOW](#)

恒久基金

[「恒久基金 地区の手引き」](#)

[ロータリーの恒久基金](#)

[恒久基金の財務報告](#)

[ロータリー賞](#)

<DDFの寄贈>

ポリオプラス基金にDDF(地区財団活動資金)を寄贈されますと国際財団活動資金(WF)から半額の組み合わせがあり、その合計にゲイツ財団から2倍の上乗せがあります。

例:  $DDF2 + WF1 + \text{ゲイツ} 6 = 9$

※WFからの組み合わせ上限額は500万ドル、ゲイツ財団からの上乗せ対象は上限5,000万ドルです。

[DDF オンライン寄贈フォーム](#)

<感謝状>

ポリオプラスへ1,500ドル以上のご寄付をくださったクラブ、DDFの20%以上をポリオプラス基金へ寄贈してくださった地区は、次年度に感謝状が贈られます。



財団法人NEWS8月号

## 【9月11日～17日は「地域社会を祝おう」週間】

9月11日～17日の週、国際ロータリー、[ライオンズクラブ国際協会](#)、[国際キワニス](#)、[オプティミスト・インターナショナル](#)が、合同で世界中の地域社会を祝います。四つの主要奉仕団体によるこの合同の取り組みは、今年で3年目となります。

ロータリークラブとローターアクトクラブは、地域社会に長期的なインパクトをもたらすために、地元にあるこれらの団体のクラブとの合同活動を実施することが奨励されています。各団体のウェブサイトにあるクラブ検索機能で、地元のクラブ([ライオンズ](#)、[キワニス](#)、[オプティミスト](#))をお探しいただけます。まずは、地元の福祉団体や自治体に働きかけ、地域社会のニーズを調べて、それに取り組むプロジェクトを立案することから始めましょう。

皆さまが実施する合同活動について地元の人びとや国際ロータリーに伝えるために、ソーシャルメディアへの投稿やロータリーショーケースへの掲載をご検討ください。  
(ソーシャルメディアでのハッシュタグ「#CelebrateCommunity」)

つながりを築き、力を合わせることで、奉仕のインパクトがさらに高まります。これらの4団体の340万人の会員の力を結集させ、ともに地域社会を祝いましょう。記事は[こちら](#)

## ポリオプラス

ロータリー会員はこれまで、予防接種キャンペーン、地域社会の協力促進、募金と認識向上、各国政府に対する支援の呼びかけに力を入れてきました。今日、多くの会員がポリオ根絶達成に向けて世界各地で活動しています。今年も世界ポリオデー(10月24日)に向けて、ポリオ根絶を成し遂げるための活動にぜひご協力ください。

ポリオ根絶活動の重要性が世界的に高まっています。今年5月、ジュネーブで開催された世界保健総会では、野生型ポリオウイルスの連鎖を絶つ機会について話し合いが行われ、専門家は、予防接種を受けていない子どもたちに手を差し伸べることが成功の鍵であることに合意しました。日本ではG7首脳会合とG7保健相会合が開かれ、ポリオのない世界を迅速に実現するという緊急の必要性が強調されました。くわしくは、[こちらの記事\(英語\)](#)をご覧ください。

ポリオ根絶はロータリーの最優先課題です。皆さまのご支援を何卒お願い申し上げます。

関連動画やソーシャルメディア用の例文など、リソースは「End Polio Now ウェブサイト」もぜひご利用ください！

End Polio Now ウェブサイト「[リソースセンター](#)」

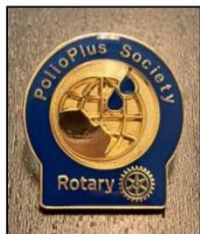


財団室NEWS8月号

【野生型ポリオウイルスによる症例数】

掲載サイト: [GPEI ウェブサイト\(英語\)](#)

		2023年 1月1日～ 7月18日	2022	2021	2020
常在国	パキスタン	1	20	1	84
	アフガニスタン	5	2	4	56
非常 常在国	モザンビーク	0	8	0	0
	マラウイ	0	0	1	0
世界合計		6	30	6	140



～ポリオプラス・ソサエティ(PPS)～

ポリオプラス・ソサエティ(PPS)は、ポリオ根絶まで毎年100米ドルを「ポリオプラス基金」にご寄付いただくロータリー会員の参加・登録を進めていただく地区主導のプログラムです。ポリオの根絶を目指し、この機会にぜひ地区内での推進をご検討いただけますと幸いです。PPSの詳細は、財団室NEWS6月号もご参照ください。

※ポリオプラス基金へのご寄付は、ポール・ハリス・ソサエティ(PHS)とポリオプラス・ソサエティ(PPS)、双方の認証の対象となります。

寄付・認証

【2022-23年度年次基金寄付ゼロクラブ最終報告】

円安等の難しい状況が続くなかでも、各地区におかれましては年度最終日まで細やかに各クラブへサポートいただき、誠にありがとうございました。結果として、多くのクラブからロータリー財団へご寄付をお寄せいただきましたこと、重ねて御礼申し上げます。  
今年度全クラブが年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標を達成できるよう、引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

地区別年次基金寄付ゼロクラブ数

2023年6月30日現在

地区	クラブ数	地区	クラブ数	地区	クラブ数
2500	0	2620	0	2740	0
2510	0	2630	0	2750	0
2520	0	2640	4	2760	0
2530	0	2650	0	2770	0
2540	0	2660	0	2780	0
2550	0	2670	0	2790	0
2560	0	2680	0	2800	0
2570	0	2690	0	2820	0
2580	0	2700	0	2830	0
2590	0	2710	0	2840	0
2600	0	2720	0	合計	4
2610	0	2730	0		

財団室NEWS8月号

### 【月次寄付レポートの更新のお知らせ】

My ROTARY で閲覧いただけます「月次寄付レポート」に項目が追加され、ポリオプラス基金への寄付額をご確認いただけるようになりました。また、ローターアクトクラブからの寄付も本レポートに表示されるようになりました。地区内クラブの寄付推進にぜひご活用ください。

➤ レポート閲覧方法

- ① [My ROTARY](#) にログインします。
- ② 「ロータリー財団」の「[各種レポート](#)」をクリックします。
- ③ 画面が変わり、「地区に関するレポート」まで下りていただくと、その中に「寄付&認証」があります。地区の寄付の「レポートを見る」をクリックし、画面が変わった後、「月次寄付レポート」をクリックします。

タイトルクリック後に現れる「プロンプト」で、閲覧したい年度と月を選びます。年度と月をクリックしてから右向きの三角形「>」をクリックすると選択できます。

(例) 2022-23年度6月時点(年度末)の寄付額を閲覧したい場合  
年度→2022-2023、月→6

地区内クラブの一覧が表示されます。

- 一覧表の最後の行には、地区の合計が表示されます。
- 会員数は9月頃に反映される予定です。
- 「その他の基金」には、補助金への現金拠出やロータリー災害救援基金への寄付などが含まれます。

Web Intelligence

地区番号 (すべての値) | ロータリー組織の種類 (すべての値)

Rotary 月次寄付レポート (表示: 米ドル)

クラブID	クラブ名	会員数	年次基金目標額	目標達成率 (%)	年次基金(一人当たり)	年次基金累計額	ポリオプラス基金累計額	その他の基金累計額	恒久基金累計額	-合計-
地区:			\$0.00	0%	\$0.00	\$2,307.69	\$1,430.00	\$0.00	\$0.00	\$3,715.04
34		34	\$3,400.00	159%	\$158.62	\$5,393.18	\$300.61	\$0.00	\$0.00	\$5,693.79
27		27	\$0.00	0%	\$0.79	\$21.43	\$861.00	\$0.00	\$0.00	\$882.43
20		20	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00
49		49	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$21.43
15		15	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$950.00
32		32	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$4,985.00
15		15	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$100.00
15		15	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$235.71
53		53	\$0.00	0%	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$0.00	\$11,125.00
18		18	\$1,028.00	285%	\$162.56	\$2,926.10	\$570.39	\$0.00	\$1,000.01	\$4,456.50
51		51	\$9,000.00	115%	\$203.73	\$10,390.12	\$3,476.00	\$0.00	\$1,000.01	\$14,866.13
48		48	\$7,200.00	100%	\$150.00	\$7,200.00	\$1,616.24	\$0.00	\$1,000.00	\$9,816.24

MCRレポート | 月次寄付レポートの詳細 | 用語説明

MCRレポート

3つのタブがあります。



財団室NEWS8月号

## 【ロータリー災害救援基金へのご寄付に関する最新情報】

ロータリー災害救援基金・補助金の試験段階(2019～2022年度)が終わり、災害救援基金が正式なものとなり、年次基金と災害救援基金との違いを明確にするための変更が加えられました。

2023年7月1日より、災害救援基金へのご寄付は次のように扱われることとなります。

### 災害救援基金への寄付で可能なこと

- 財団の認証ポイントに加算され、寄付者の累積寄付額に算入される
- ポール・ハリス・フェロー、ポール・ハリス・ソサエティ、メジャー・ドナー、アーチ・クランフ・ソサエティの認証の対象となる
- クラブによる「100%財団寄付クラブ」バナー認証の対象となる

### 災害救援基金への寄付で可能ではないこと

- クラブの年次寄付目標への算入
- 一人あたりの年次基金寄付の計算における算入
- DDFの創出
- Every Rotarian, Every Year またはロータリー財団友の会会員としてのステータスを維持するための算入

2023年7月1日より、災害救援基金への寄付は、年次基金の寄付額には算入されませんのでご注意ください。また、月次寄付レポートや寄付詳細レポートなどに「その他」として表示されます。記事は[こちら](#)

## 【寄付送金明細書の更新】

公益財団法人ロータリー日本財団へ銀行振り込みでのご寄付(日本円の銀行振込でのご寄付)の際には、「[寄付送金明細書](#)」の送付が必要となっております。この度、本書式の更新をいたしました。上記ロータリー災害救援基金の変更点なども、反映しています。

- ダウンロードは[こちら](#)

[公益財団法人ロータリー日本財団 寄付送金明細書\(ロータリー会員/クラブ用\)](#)

- ロータリーのウェブサイトからも、いつでもダウンロードいただけます。

[My ROTARY](#) 「行動する」 → 「ご寄付」欄の「ご寄付の方法」

→ 「ご寄付」ページの最下部「寄付書式」欄内にある、

「公益財団法人ロータリー日本財団 寄付送金明細書(ロータリー会員/クラブ用)」



お手元の古い書式から、新しい寄付送金明細書へ差し替えをお願いいたします！

## 【ロータリー国際大会で寄付者の貢献を称える】

2023年ロータリー国際大会では、世界各地のプロジェクトを可能としている寄付者の方々に感謝を示し、その貢献を認証するため、インスピレーションあふれるドナーサミットや準礼装での晩餐会などが行われました。

アーチ・クランフ・ソサエティ大会前式典では、同ソサエティへの新規入会者や寄付のレベルアップをした方々が認証されました。ロータリー財団ドナーサミットでは、ロータリーのリーダーが、ロータリーのプログラムを支援することによってもたらされるインパクトについて、1,000人以上の参加者に語りかけました。「ここにいらっしゃる皆さまは、ご自分の人生、そして人びとへの奉仕の両方で、それぞれの道を歩んでいらっしゃいました」とイアン H. S. ライズリー管理委員長が述べました。記事の続きは[こちら](#)

財団室NEWS8月号

E/MGA 主催 「恒久基金／大口寄付 情報交換会」開催  
各地域の恒久基金／大口寄付推進アドバイザー(E/MGA)が、担当地区の現状を把握し、それぞれに適した協力・連携をするため、地区で専任された恒久基金／大口寄付小委員会委員長や地区リーダーを対象とした情報交換会を開催します。

<開催日時およびお問い合わせ先>

- 第1地域 2023年8月30日(水) 16:00~17:30  
E/MGA 細川吉博 [y\\_hosokawa@hakuaikai.org](mailto:y_hosokawa@hakuaikai.org)
- 第2地域 2023年8月28日(月) 16:00~17:30  
E/MGA 杉岡芳樹 [ysugioka@sagamigas.com](mailto:ysugioka@sagamigas.com)
- 第3地域 2023年8月29日(火) 16:00~17:30  
E/MGA 末長範彦 [n\\_suenaga@okayama-toyopet.jp](mailto:n_suenaga@okayama-toyopet.jp)

### 【公益財団法人ロータリー日本財団 領収証について】

2023年1月から6月までの個人寄付の確定申告用領収証を、2023年7月末にクラブ宛に送付予定です。なお、領収証は半年間の合計寄付額です。(振込みとクレジットカードによる寄付は、別々に発行されます。)記載の日付は半年間の最終寄付日です。

領収証が届きましたら寄付者へお渡しいただき、必ず金額、お名前などをご確認いただきますようお願いいたします。誤りがありましたら、国際ロータリー日本事務局 経理室 ( [rjpnfs@rotary.org](mailto:rjpnfs@rotary.org) )までご連絡下さい。

多くの方々からのあたたかいご寄付に、心よりお礼申し上げます。

## 補助金

### 【補助金管理セミナー2023-24年度の再取得コース】

ラーニングセンターの「[補助金管理セミナー](#)」には、年度ごとに最新情報を含む再取得コースが設けられます。「[2023-24年度の再資格認定コース](#)」では、地域社会調査の実施、プロジェクトの立案、奨学金、グローバル補助金の財務管理、インパクトの測定と報告、まとめの知識チェックの6つのコースがあり、これまでに補助金の申請経験がある方も、初めての方にも具体的でわかりやすいコースとなっています。(ラーニングセンターには、[My ROTARY](#)へのログインが必要です。)

### 【補助金センター】

補助金を申請しているまたは予定しているクラブの会長や、プロジェクトの委員予定者は、一度補助金センターを開いて、申請書の検索や、リソースの閲覧を試みましょう。地区内のクラブの過去の申請書などを閲覧することもできますので、申請のイメージがしやすくなります。

1. [My ROTARY](#)にログイン後、「行動する」をクリック
2. 「補助金を申請する」欄の「申請はこちら」をクリックすると、「補助金センター」が開きます。

<補助金>

[ロータリーの補助金](#)

授与と受諾の条件

- [地区補助金用](#)
- [グローバル補助金用](#)

[補助金による旅行](#)

[ロータリーの旅行禁止国リスト](#)

[グローバル補助金ガイド](#)

[地域社会調査の結果フォーム](#)

[地域調査の方法](#)

[協力団体の覚書\(MOU\)](#)

[ローターアクターによるロータリー](#)

[補助金の利用 よくある質問](#)

<重点分野>

[重点分野の基本方針](#)

[重点分野ガイド](#)

[重点分野別ガイドライン](#)

- [基本的教育と識字率向上](#)
- [疾病予防と治療](#)
- [地域社会の経済発展](#)
- [母子の健康](#)
- [平和構築と紛争予防](#)
- [水と衛生](#)
- [環境](#)

[モニタリングと評価の計画について](#)

<プロジェクトのヒント>

[ロータリーショーケース](#)

[プロジェクトフェア](#)

[補助金担当職員一覧](#)

[重点分野の担当職員](#)

[補助金レポートの利用方法](#)

<オンライン申請>

[補助金センター](#)

[補助金センターのご利用ガイド](#)

[補助金センターのご利用ガイドグローバル補助金奨学生](#)

[グローバル補助金申請書のテンプレート](#)

[グローバル補助金報告書のテンプレート](#)

[グローバル補助金 計算表](#)

<奨学金>

[奨学金の提供](#)

[ロータリー平和フェロシップ](#)

[ロータリーの学友](#)

[グローバル補助金奨学生のテンプレート](#)

<補助金の参加資格認定>

[参加資格の認定](#)

[地区の覚書\(MOU\)](#)

[補助金管理セミナー指導者用手続き](#)

[地区の参加資格認定に関するよく](#)

[ある質問\(FAQ\)](#)

[地区資金管理計画ガイド](#)

[クラブの覚書\(MOU\)](#)



財団室NEWS8月号

### 【報告書の期限】

グローバル補助金では7月から8月にかけて承認や支払いを受けるプロジェクトが多いため、この時期にはパートナークラブや地区が提唱する別の補助金の報告期限が過ぎていて新しい補助金の承認・支払が遅れるケースが多くみられます。補助金の報告書は、必ず期限内にご提出いただきますようお願いいたします。(補助金センターの「私の補助金」ページから期限を確認できます。)

奨学金の場合も、報告書期限は補助金支払日からの起算となります。報告の期限が8月で、9月に留学等が完了予定という場合、奨学金を使い切っていれば早めに最終報告書を提出することもできますので、「あと少しで留学が終了するから…」と留学期間に合わせて報告期限を過ぎてしまうことのないようお願いいたします。

### 【補助金口座について】

#### ● 補助金受領口座

補助金受領口座は、資金が、他の資金と混ざらないように管理できるよう、補助金専用口座をご用意ください。

口座名には、提唱者がクラブの場合はクラブ名、地区の場合は地区番号情報を含めてください。クラブや地区での口座開設が難しいこともあるため、すでに以前の補助金資金が使い果たされているなど、資金が混ざらないことが確実にあれば、既存の口座を再度使用できます。(ただし、口座名に個別の補助金番号が含まれる場合、新しい補助金にあわせて適宜口座名のご変更をお願いいたします。)

グローバル補助金の場合、口座情報は、補助金を受領するクラブ/地区のみが提出します。

#### ● 通帳のアップロード

地区補助金は申請書に、グローバル補助金は提出後に追加情報としてオンラインで補助金受領口座の情報を提出します。その際、補足文書として通帳の表紙裏などカタカナで口座名が書かれたページのアップロードが必要です。

この手続きがされていないことで送金が遅れるケースが頻発しています。

また、口座情報は機密性の高い情報となるため、Eメールで送信することは避けてください。補助金センターから直接アップロードするか、やむを得ずEメールで送る場合は、メールを暗号化していただくようお願いいたします。

#### ● 報告書へのアップロード

グローバル補助金の場合、銀行取引明細の写しとして、口座の補助金受領からすべての資金を使い切るところまでのページを報告書に添付します。奨学金プロジェクトの場合も、提出するのは提唱クラブまたは地区の口座です。奨学生本人の通帳情報は不要です。

※地区補助金の報告書では、通帳や銀行取引明細の写しのアップロードは必須ではありません。地区やクラブにて必ず保管をお願いいたします。(報告書の審査の際に、個別に提出をお願いさせていただく場合がございます)





財団室NEWS8月号

● 補助金資金について

補助金資金に利子が付いた場合は、補助金の一部としてプロジェクトに使用し、補助金の記録にも残します。

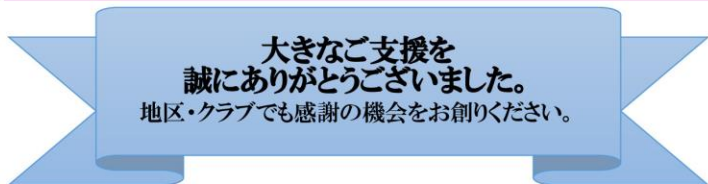
1,000ドル以下の未使用の資金は、事前の承認を受けずに、プロジェクト関連経費に使用できます。金額にかかわらず、補助金と関係のない経費への使用はできません。(地区補助金の場合は、利子も含め地区全体で1,000ドル以下)

プロジェクトの支払い完了後に利息が付いてしまった場合、ほかに返金予定の未使用の資金があればその返金額に含めます。補助金返金の予定が無い場合は、プロジェクト関連の経費の一部として、送金手数料等に充てたり、追加プロジェクトの経費に充てる(地区補助金の場合)など、地区にてご相談ください。なお、どのように利用したのか補助金の記録にも残すようお願いいたします。

参考

- 「ロータリー財団地区補助金 授与と受諾の条件」
- 「ロータリー財団グローバル補助金 授与と受諾の条件」
- 「地区の覚書(MOU)」
- 「クラブの覚書(MOU)」
- 「グローバル補助金 ガイド」

大口寄付(一括10,000ドル以上のご寄付)



2023年6月26日～7月21日 確認分(敬称略、寄付日順)					
地区	クラブ	寄付者	地区	クラブ	寄付者
2690	岡山	末長 範彦	2780	相模原 かめりあ	田島 恵
2760	名古屋 中	籠橋 美久	計 3 名		

※オンライン寄付や諸手続きを要する大きなご寄付の場合、掲載に時間がかかる場合がございます。

<ロゴ>

[ブランドリソースセンター](#)  
[ロゴのテンプレート、クイックガイド](#)  
[「END POLIO NOW」のロゴ](#)  
[ラーニングセンターの「公共イメージ」](#)  
 のコース内の、ロータリーのロゴやブランドのコースもご活用ください。

[クラブ推進の強い味方:ブランドリソースセンター](#)  
[クラブで SNS を活用するヒント](#)

今後の予定

7月1日～ 9月15日	<a href="#">ロータリー最優秀学友会賞、ロータリー学友世界奉仕賞</a>
7月1日～ 10月1日	<a href="#">ポリオのない世界を目指す奉仕賞</a>
10月24日	世界ポリオデー
11月19日 ～22日	第52回ロータリー研究会ならびに付随プログラム

国際ロータリー日本事務局財団室  
 〒108-0073  
 東京都港区三田1-4-28  
 三田国際ビル24階  
 Email: [RIJPNTRF@rotary.org](mailto:RIJPNTRF@rotary.org)  
 Tel: 03-5439-5805  
 Fax: 03-5439-0405

財団室 NEWS への個人データの掲載は、本人の許可を得ています。ロータリーの事業目的以外でお名前やクラブ名等個人を特定できる情報を含むデータの複製、転用、転載等にはできません。詳しくは[個人データの使用に関するロータリーの方針](#)をご参照ください。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

# ハイライトよねやま

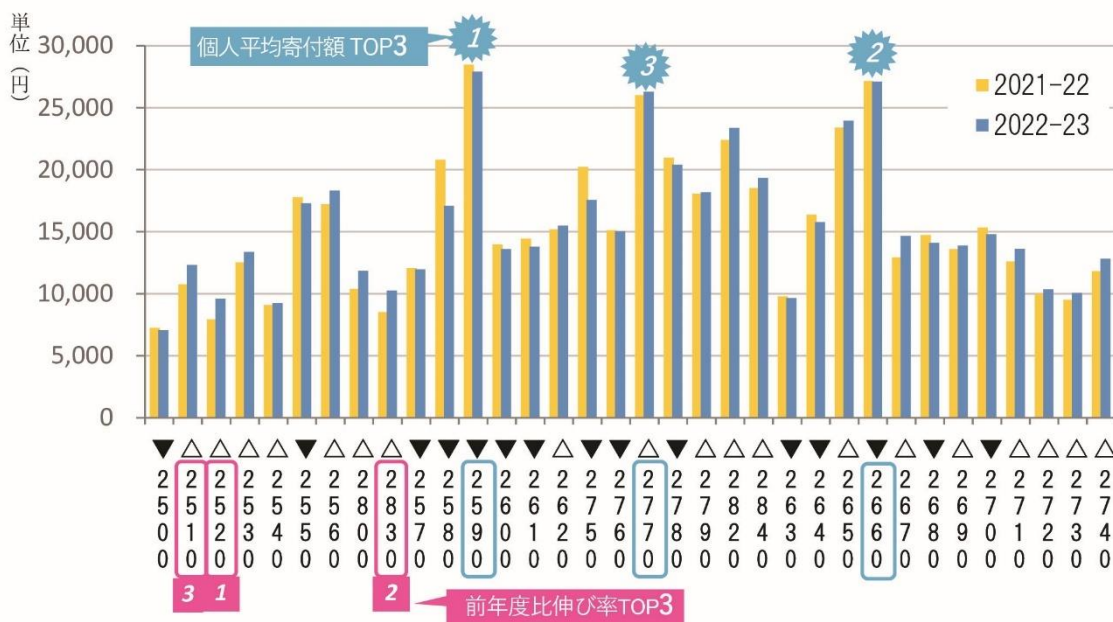
vol.

280

2023年7月13日  
発行

## 1. 2022-23 年度 寄付金結果

2022-23 年度の寄付金は約 14 億 2,300 万円となりました。前年度比 5.7% 増（普通寄付金:1.2% 減、特別寄付金:8.8% 増）、約 7,700 万円増加しました。とりわけ、2 人の学友からそれぞれ約 6,900 万円、1,000 万円という高額寄付をお送りいただいたことなどもあり、今年度の予算を達成することができました。皆さまに厚く御礼申し上げます。2023 年度も引き続きご支援を賜りますよう、よろしくお願いたします。



個人平均寄付額 TOP3 【全国平均：16,960 円】

① 第 2590 地区：27,903 円      ② 第 2660 地区：27,097 円      ③ 2770 地区：26,283 円

前年度比伸び率 TOP3

① 第 2520 地区：120.9%      ② 第 2830 地区：120.5%      ③ 第 2510 地区：114.5%

## 2. 第 2 回 次期地区米山奨学委員長セミナー開催

2023-24 年度の地区米山奨学委員長を対象とする第 2 回セミナーを 6 月 13 日、米山梅吉記念館（三島）で開催しました。セミナー開始前に市川学芸員から、館内展示と梅吉翁の墓所を案内していただきました。

セミナーは若林紀男理事長の挨拶に続き、事務局から学校説明会や奨学生選考の注意点の他、学友会、広報、寄付の説明を行いました。



その後 4 グループに分かれ、奨学生選考、奨学生育成、学友会の活性化などをテーマに、各地区における現状の課題や、取り組みについてディスカッションを行いました。最後にディスカッションの内容を代表者が発表し、井原実常務理事の挨拶で閉会となりました。全国から集まった次年度委員長間で活発な意見交換が行われました。



### 3. 学友ロータリアンが10万円寄付「毎年続ける」

中国出身の米山学友で、第2620地区甲府中央RCに所属する伊原<sup>ひろこ</sup>廣鴻さん(1997-98/一宮RC)が10万円を寄付し、6月26日の例会にて第1回米山功労者として表彰されました。

現在は山梨県内で内科医として勤務している伊原さんは、「米山奨学生に合格した時は、世界が変わったかのように嬉しかったことを今でも覚えています。一宮RCの当時のカウンセラーさんには何から何までお世話になり、本当に感謝しています。これからは、米山奨学生だったことへの恩返しをするべく、毎年寄付を続けるだけで



渡辺委員長から感謝状を授与された伊原さん(右)

なく、医療でも地域に貢献していきたいです」と、力強く今後の意気込みを語りました。

例会では、同地区の渡辺郁米山記念奨学委員長が卓話を行い、当事業の概要について説明。質疑応答も行い、米山奨学事業への理解を深め

ました。同クラブは、衛星クラブとしての活動を経て、2022年4月に正式にロータリークラブとして始動。第2620地区内において女性比率1位のクラブとして2年連続で表彰された特徴的なクラブで、2023年4月からはモンゴルからの奨学生を受け入れています。

### 4. 10年の時を経てベトナムで再会

米山学友の累計数が23,000人を超え、今や世界中で学友が活躍しています。今回は、10年の時を経て学友と再会を果たしたロータリアンの話をご紹介します。

第2670地区、阿波徳島RCは2013年から1年間、ベトナム出身のディン・ミン・フィーさんの世話クラブとなりました。当時クラブ米山委員長だった向井眞一会員によると、例会後共に食事に行き飲み交わしたり、クラブの野球チームに参加したりと、ディンさんは「社交的で、明るく真面目な性格の好青年」だったそうです。奨学期間終了後、ベトナムへ帰国したディンさんは、同地区の米山学友であるフィン・チャ

ン・ティー・フェンさん(2011-13/美馬RC)と結婚。向井会員にも結婚報告の連絡が届きました。直接お祝いすることは叶いませんでしたが、今年6月のベトナム出張を機に、ディンさんと再会。現在は不動産関係の職に就き、1人の父親として大きく成長した姿を目の当たりにし、感銘を受けたそうです。

現在も堪能な日本語を操るディンさんは、「また日本に行ってクラブの皆さんに挨拶がしたい」と思いを語り、クラブの方へのお土産をくれたそうです。向井会員は、その様子を帰国後の例会で披露。10年という月日が流れても、変わらず素敵な交流が続いています。



ディンさん(中央右)一家と向井会員(左)

### Thank you



2021年12月に当会へ100万円をご寄付いただいた台湾出身の張忠信さん(1961-64/東京RC、1964-65/東京日本橋RC)からこのたび、2回目のご寄付として1,000万円をいただきました。張さんは、自身と同じ台湾出身の米山学友が累計で3,500人を超え、多くの後輩たちが巣立っていることに対し、喜びを語りました。改めて、お気持ちに感謝申し上げます。

### 学友からの高額寄付



## 会員動向

《 2023 年 6 月 》

【入会者】



藤嶋 かおり  
(六ヶ所)  
6月1日入会



手島 正人  
(青森)  
6月8日入会



大室 幸司  
(青森)  
6月8日入会



栗谷川 敏彦  
(八戸)  
6月7日入会

【退会者】

クラブ名	氏名	退会日
六ヶ所	赤石 薫	6月1日
三沢	野口 健彦	6月30日

クラブ名	氏名	退会日
十和田	築田 明博	6月30日
十和田	佐藤 展彦	6月30日
鱒ヶ沢	北浦 松栄	6月30日
弘前	山中 一彦	6月30日
弘前	中田 吾	6月30日
弘前	下山 悟	6月30日
黒石	松井 修一郎	6月30日
黒石	坂本 壽一	6月30日
弘前西	波岸 正	6月28日
弘前アップル	小林 伯裕	6月30日
弘前アップル	三上 洋一郎	6月30日
青森	川村 和夫	6月30日
青森	船越 秀彦	6月30日
青森	細谷 宗生	6月30日
青森	山辺 務	6月30日
八戸	広瀬 知明	6月15日
八戸	福井 哲郎	6月15日
八戸	平戸 昭彦	6月15日
八戸	板 慎一	6月15日
八戸北	音喜多 泉	6月30日
八戸中央	太田 竜介	6月30日
八戸中央	前田 由美	6月30日
八戸西	田沢 英治	6月30日
八戸西	長尾 愛子	6月30日
八戸西	古舘 弘行	6月30日

【ロータリー財団寄付】



小山 茂  
(青森北東)  
PHF+1



松田 義武  
(八戸南)  
PHF+1

【米山記念奨学会寄付】

<米山功労者>



本間 義悦  
(青森北東)  
第1回

<米山功労クラブ>

野辺地ロータリークラブ 第5回



2023年6月会員数の増減及び出席率表

グループ	クラブ名	例会数	出席率 %	正会員数								My Rotary 登録率 %
				前月末 会員数	入会	退会	6月末 会員数	女性 会員数	期首 会員数	入会 累計	退会 累計	
東第一グループ	むつ (うち、むつ大畑)	3	89.00	50 (9)	0 (0)	0 (0)	50 (9)	2 (1)	50 (8)	4 (1)	4 (0)	30.00
	野辺地	4	92.30	13	0	0	13	2	14	0	1	100.00
	七戸	4	90.18	8	0	0	8	2	9	0	1	25.00
	東北	3	85.40	16	0	0	16	2	17	2	3	87.50
	むつ中央	4	68.00	22	0	0	22	0	22	1	1	18.18
	六ヶ所	5	70.00	32	1	2	31	1	32	2	3	18.75
	小計			141	1	2	140	9	144	9	13	
東第二グループ	三沢	4	64.45	25	0	1	24	1	25	3	4	41.67
	十和田	4	58.00	40	0	2	38	11	37	5	4	25.64
	十和田東	4	90.70	26	0	0	26	2	27	1	2	53.85
	おいらせ	4	84.00	6	0	0	6	1	9	0	3	50.00
	三沢東	4	79.35	35	0	0	35	4	36	1	2	31.43
	十和田八甲	3	77.50	83	0	3	80	1	82	2	4	36.25
	小計			215	0	6	209	20	216	12	19	
西第一グループ	五所川原	4	58.65	54	0	0	54	6	50	4	0	79.63
	金木	4	90.00	12	0	0	12	1	12	0	0	8.33
	鱒ヶ沢	2	56.60	15	0	1	14	2	15	0	1	28.57
	鶴田	3	70.80	8	0	0	8	1	8	0	0	37.50
	五所川原中央	4	53.00	26	0	0	26	2	30	0	4	38.46
	つがる	4	63.00	33	0	0	33	0	32	1	0	30.30
	五所川原イヴニング	2	51.70	29	0	1	28	7	29	0	1	50.00
小計			177	0	2	175	19	176	5	6		
西第二グループ	弘前	4	58.50	43	0	3	40	2	45	0	5	60.00
	弘前東 (うち、弘前東桜華)	1	85.70	18 (10)	0 (0)	0 (0)	18 (10)	5 (3)	18 (10)	0 (0)	0 (0)	33.33
	板柳	2	95.00	11	0	0	11	0	11	1	1	36.36
	黒石	4	71.00	21	0	2	19	3	20	2	3	57.89
	大鰐	3	60.00	10	0	0	10	0	10	0	0	30.00
	弘前西	3	100.00	29	0	1	28	4	28	1	1	71.43
	平賀・尾上			9	0	0	9	0	10	0	1	33.33
弘前アップル	2	100.00	21	0	2	19	3	20	1	2	63.16	
小計			162	0	8	154	17	162	5	13		
中グループ	青森	3	75.90	98	2	4	96	7	86	25	15	91.67
	青森北東	2	87.70	22	0	0	22	3	21	2	1	68.18
	青森中央	2	83.30	6	0	0	6	1	7	0	1	33.33
	青森モーニング	2	56.80	22	0	0	22	3	23	1	2	45.45
	小計			148	2	4	146	14	137	28	19	
南グループ	八戸	4	77.60	63	1	4	60	0	61	5	6	41.67
	八戸東	4	100.00	48	0	0	48	0	47	2	1	60.42
	三戸	3	96.00	9	0	0	9	0	9	0	0	100.00
	五戸	3	94.20	12	0	0	12	1	11	1	0	50.00
	南部	3	80.00	10	0	0	10	0	10	0	0	50.00
	八戸北	4	66.20	39	0	1	38	8	39	0	1	50.00
	八戸南	3	88.90	31	0	0	31	1	31	0	0	100.00
	八戸中央	4	61.30	22	0	2	20	5	21	2	3	50.00
	八戸西	3	58.60	37	0	3	34	21	36	1	3	40.54
小計			271	1	10	262	36	265	11	14		
合計 40RC			1,114	4	32	1,086	115	1,100	70	84	50.27	

※ ( ) 内は衛星クラブの会員数です

期首会員数は2022年6月末会員数です  
7月1日の会員数は1,103名です  
6月末現在の入退会人数です

地区行事予定			
2023年8月 会員増強・新クラブ結成推進月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(火)	ガバナー公式訪問 板柳RC	板柳町商工会館 2F
2	(水)	ガバナー公式訪問 弘前東RC	アートホテル弘前シティ
3	(木)		
4	(金)		
5	(土)		
6	(日)		
7	(月)		
8	(火)	ガバナー公式訪問 大鱈RC	山忠会館
9	(水)		
10	(木)		
11	(金)	山の日	
12	(土)		
13	(日)		
14	(月)		
15	(火)		
16	(水)		
17	(木)		
18	(金)		
19	(土)		
20	(日)		
21	(月)		
22	(火)	ガバナー公式訪問 十和田RC	サン・ロイヤルとわだ
23	(水)	ガバナー公式訪問 三戸RC	田岩本店 2F
24	(木)	ガバナー公式訪問 黒石RC	赤提灯 2F
25	(金)		
26	(土)		
27	(日)		
28	(月)	ガバナー公式訪問 青森中央RC	ホテル青森
29	(火)	ガバナー公式訪問 青森モーニングRC	ホテル青森
30	(水)	ガバナー公式訪問 青森北東RC	ホテル青森
31	(木)	ガバナー公式訪問 青森RC	ホテル青森

地区行事予定			
2023年9月 基本的教育と識字率向上月間/ロータリーの友月間			
月 日	曜 日	内 容	会 場
1	(金)		
2	(土)		
3	(日)		
4	(月)	ガバナー公式訪問 東北RC ガバナーエレクト研修セミナー《GETS》(～5日)	青森原燃テクノロジーセンター グランドプリンスホテル新高輪
5	(火)		
6	(水)	ガバナー公式訪問 十和田八甲RC 地区研修リーダーのためのセミナー《DTS》	サン・ロイヤルとわだ ザ・プリンスさくらタワー東京
7	(木)	ガバナー公式訪問 十和田東RC	サン・ロイヤルとわだ
8	(金)		
9	(土)		
10	(日)		
11	(月)		
12	(火)		
13	(水)	ガバナー公式訪問 おいらせRC	レストランカワヨグリーンロッジ
14	(木)	ガバナー公式訪問 三沢東RC	きざん三沢
15	(金)		
16	(土)		
17	(日)		
18	(月)	敬老の日	
19	(火)	ガバナー公式訪問 弘前西RC ガバナー公式訪問 平賀・尾上RC	創作郷土料理の店 菊富士 本店 平川市尾上庁舎 3F アレンジメント室
20	(水)		
21	(木)		
22	(金)		
23	(土)	秋分の日	
24	(日)		
25	(月)	ガバナー公式訪問 八戸中央RC	八戸プラザホテル
26	(火)	ガバナー公式訪問 八戸北RC	八戸プラザホテル
27	(水)	ガバナー公式訪問 五戸RC	アピル五戸
28	(木)	ガバナー公式訪問 八戸南RC	八戸パークホテル
29	(金)	ガバナー公式訪問 八戸東RC	八戸グランドホテル
30	(土)		